

越前町議会・令和5年6月定例会一般質問【藤野菊信議員】

(令和5年6月7日 午後1時33分 開始)

○8番(藤野菊信君) 議長のお許しをいただきましたので、通告書に基づき、一般質問させていただきます。

今後の越前町内の施設と観光について。

北陸新幹線の敦賀までの開通や中部縦貫自動車道の開通に向けて各市町はいろいろな受入れ態勢を進めていますが、越前町として今後の地域の憩いの場所づくりや観光について、このようになればとの思いで質問いたします。

今回は、越前地区と織田地区について伺います。

越前地区では、道の駅越前の周辺整備について、何年も前からほかの議員方も質問していますが、アクティブグラウンドの外周をアスファルトにして駐車場にできないかです。キャンピングカー専用の駐車場やイベント開催時の駐車場の確保のためです。これですと、今までどおりゲートボールやグラウンドゴルフ、体育祭も行うことができます。また、冬の越波対策や春夏の砂嵐から道の駅越前やうおいちへの砂の被害も防げます。

それと、海や夕日を眺められる場所と足湯を楽しめる施設を造れないかと考えます。地域の人たちやマイカーで訪れる観光客がここで少しの時間でもリラックスできる場所があれば、本当の意味での道の駅だと思います。日本の夕日百選にも選ばれているこの地域で、車を止めて海や夕日を眺められる場所はあまりありません。町長の考えをお聞かせください。

次に、織田地区については、悠久ロマンの杜の再生です。エボシ山の山頂付近を整備すれば、町民の憩いの場所として、または観光としても役立ちます。春の花見、夏の星空、麓には蛍の里、頂上からの景観は越前町内で一番だと思います。コテージや茅葺き屋根の宿泊施設についても町内外にあまりにもPRしていませんので、誰も知りません。コロナ後の今、都市部では人との接触を避けて、家族や友人で悠久ロマンの杜と似たような施設に出かけて楽しんでいます。どこにもぎわっていますし、料金は倍以上しています。やり方次第で十分採算が取れると考えます。

また、劔神社周辺のにぎわい創出についてですが、嶺北地方で唯一の国宝の梵鐘と織田信長公のこの2つを大々的にアピールすることだと考えます。文化歴史館の正面に国宝の梵鐘を掲げて、左手に織田信長公に関わる文献や資料をこれまで以上に集め、展示します。そして日本国中から織田信長公に関わるいろいろなグッズを集めて展示、販売します。外の駐車場には、馬に乗った信長公の銅像を作り、観光客に写真を撮ってもらい、SNSにアップしてもらいます。また、駐車場の脇につり鐘堂を建設して、レプリカの梵鐘をつるし、京都や滋賀県のお寺などでやっているように、100円で3回たたけるようにします。

今後の福井県への観光客の入り口に、大野市や敦賀市、池田町が入ってきます。このまま越前町が何もしないで3年、5年と月日がたつと、福井県の観光地図が変わってしまいます。冬場のカニシーズンにはここにいる皆様が思っている何倍もの観光客が越前地区に来ています。その人たちが違う季節にあと少しでも来てもらい、宿泊し、買物をして、町内のほかの場所で時間を過ごせば、町内にも少しは活気が出てきて働く場所も増えてくると考えます。

町長の心に少しでも何か感じることを願い、町長のご所見を伺います。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） それでは、お答えいたします。

初めに、アクティブランド運動場の件につきましては、さきの3月定例会でもご質問いただいたところですが、現時点において検討は進んでおりません。前回もご答弁申し上げましたとおり、まずは越波対策、改修の具体策、財源の確保など検討を進めてまいります。

次に、憩いの場の整備につきましては、貴重なご意見をいただいたところですが、アクティブハウス越前など、施設全体の老朽化も進んでおりますので、老朽度合いを見極めながら検討してまいりたいと思います。

次に、織田地区の悠久ロマンの杜についてですが、ここ数年、コロナ禍の影響もあり、積極的なPRができませんでした。昨年度朋楽館の茅葺き屋根の改修も終えたことから、再度PRに努めてまいります。また、先だって指定管理者である入尾・笈松活性化委員会から会員の高齢化等に伴い、今後の管理運営が困難との理由により、今年度末での指定の取消し申出があったところです。町としましては、今後新たな指定管理者の公募を行い、民間活力を導入し、施設全体のにぎわいづくりに取り組んでまいります。

次に、劔神社周辺のにぎわいづくりに関してですが、町では織田地区区長会や織田地区壮年集団連絡協議会、織田女性の会などから成る織田地区コミュニティ運営委員会からの劔神社周辺のまちづくりに関する要望を受け、今年度劔神社前町道の歩車道の段差解消や歩道の拡幅など、観光客等に配慮した道路を整備します。今後は劔神社周辺のにぎわいの創出に向け、織田地区コミュニティ運営委員会と協議を進めてまいりたいと考えております。

本年秋の国道417号冠山峠道路の開通、令和6年春の北陸新幹線の県内開業、また令和8年春の中部縦貫自動車道の全線開通などにより、本県への人の流れが大きく変わります。このことから、越前町の豊富な観光資源を最大限に生かし、これまで以上に県や近隣市町、地元の方々と連携を深め、観光誘客を一層図ってまいります。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 藤野菊信君。

○8番（藤野菊信君） 丁寧な答弁ありがとうございました。

質問の最後に、答弁はいただきませんので提案だけいたします。

越前町の財政が厳しいことは十分に分かっています。それでも観光や人々の集客には県内外至るところにヒントが隠れていると思っています。

先月の5月28日の日曜日、甲子園球場の阪神対巨人戦を観戦に行きました。金土日の3日間、4万2,600人の超満員です。飲物、つまみ、食べ物が飛ぶように売れてゆき、帰りには多くの人たちがグッズを買って帰ります。また、高速道路の大津サービスエリアでは、551の蓬莱の店頭で100人以上の行列ができていました。これらは決して観光地ではありませんが、参考になります。平成12年頃、大阪のUSJ、勝山の恐竜博物館、越前町厨の越前がにミュージアムなどがオープンしました。20年前、福井駅前に恐竜のモニュメントができるのは誰も思っていませんでした。越前町でもじっくりと考えて、町内にすてきな何かができることを願って、私の一般質問を終わります。

（午後1時45分終了）